

大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書

(平成24年1月分)

大 阪 市 港 湾 局

大阪湾広域臨海環境整備センター

目 次

I 事後調査の概要

1. 調査概要	I - 1
2. 工事の実施状況	I -10
3. 調査結果の概要	I -11

II 事後調査結果

1. 大気質	II - 1
2. 水質	II - 9

I 事後調査の概要

1. 調査概要

「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく平成 24 年 1 月の事後調査の概要は表-1 に、調査地点の位置は図-1 に示すとおりである。

埋立地周辺における調査

表-1 (1) 事後調査の概要 (平成 24 年 1 月)

(1)大気質 (図-1(1)参照)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
二酸化硫黄(SO ₂) 窒素酸化物(NO ₂ 、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	1点(南港中央公園局)	1月1日～31日	通年連続

(2)水質

①一般項目 (図-1(1)参照)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
●生活環境項目 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全燐(T-P)	5点×2層 【1, 2, 3, 4, 5】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m	1月11日	1回/月
●その他の項目 透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質(SS) クロロフィルa			

②埋立中の濁り等監視(廃棄物処分場周辺) (図-1(2)参照)

②-1 放流水、内水及び護岸外周(1)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
濁度 水温 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO)	放流水 1点	1月5日～31日	連続測定
浮遊物質(SS) 不揮発性浮遊物質(FSS)	放流水 1点 内水 1点	1月5,11,17,25日	1回/週
水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 全窒素(T-N) 全燐(T-P) n-ヘキサン抽出物質 大腸菌群数	(処理原水)	1月11日	1回/月
透明度 水温 塩分 浮遊物質(SS) 不揮発性浮遊物質(FSS) 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全燐(T-P) n-ヘキサン抽出物質 大腸菌群数	護岸外周 3点×2層 (護岸から30m) 【19, 20, 21】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m	—	4回/年 (5月、8月、11月、2月)
	n-ヘキサン抽出物質は上層のみ調査 大腸菌群数は上層のみ調査		

表-1 (2) 事後調査の概要 (平成 24 年 1 月)

②-1 放流水、内水及び護岸外周(2)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
●健康項目等 カドミウム 全シアン 鉛 六価クロム 砒素 総水銀 アルキル水銀 PCB ジクロロメタン 四塩化炭素 1,2-ジクロロエタン 1,1-ジクロロエチレン シス-1,2-ジクロロエチレン 1,1,1-トリクロロエタン 1,1,2-トリクロロエタン トリクロロエチレン テトラクロロエチレン 1,3-ジクロロプロペン チウラム シマジン チオベンカルブ ベンゼン セレン フェノール類 銅 亜鉛 溶解性鉄 溶解性マンガン 全クロム 陰イオン界面活性剤 有機燐 ほう素 ふっ素 アンモニア等(アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物) 1,4-ジオキサン	放流水 1点 内水 1点 (処理原水) 護岸外周 3点×2層 (護岸から30m) 【19, 20, 21】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m	—	4回/年 (5月、8月、11月、2月)
ダイオキシシン類	ダイオキシシン類は上層のみ調査		放流水 4回/年 (5月、8月、11月、2月) 内水 2回/年 (8月、2月) 護岸外周 1回/年 (8月)

表－1 (3) 事後調査の概要 (平成 24 年 1 月)

②－2 処分場周辺

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質(SS) 不揮発性浮遊物質(FSS) 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全磷(T-P) クロロフィルa n-ヘキサン抽出物質 大腸菌群数	6点(護岸から500m)×2層 【13, 14, 15, 16, 17, 18】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m n-ヘキサン抽出物質は上層のみ調査 大腸菌群数は上層のみ調査		4回/年 (5月、8月、11月、2月)
カドミウム 全シアン 鉛 六価クロム 砒素 総水銀 アルキル水銀 PCB ジクロロメタン 四塩化炭素 1,2-ジクロロエタン 1,1-ジクロロエチレン シス-1,2-ジクロロエチレン 1,1,1-トリクロロエタン 1,1,2-トリクロロエタン トリクロロエチレン テトラクロロエチレン 1,3-ジクロロプロペン チウラム シマジン チオベンカルブ ベンゼン セレン 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 フェノール類 銅 亜鉛 溶解性鉄 溶解性マンガン 全クロム 陰イオン界面活性剤 有機磷 1,4-ジオキサン		—	2回/年 (8月、2月)

表-1 (4) 事後調査の概要 (平成 24 年 1 月)

(3)底質

①一般項目

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
粒度組成 含水率 強熱減量 化学的酸素要求量(GOD) 硫化物 全窒素(T-N) 全磷(T-P) 酸化還元電位	4点(表層土) 【2, 3, 4, 5】	—	2回/年 (8月、2月)

②廃棄物等埋立中の監視(廃棄物処分場周辺)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
●一般項目 粒度組成 含水率 強熱減量 化学的酸素要求量(GOD) 硫化物 全窒素(T-N) 全磷(T-P) 酸化還元電位	1点(表層土) 【15】	—	2回/年 (8月、2月)
●有害項目<含有量試験> アルキル水銀 総水銀 カドミウム 鉛 有機燐 六価クロム 砒素 シアン PCB 銅 亜鉛 ふっ化物 トリクロロエチレン テトラクロロエチレン ベリリウム クロム ニッケル パナジウム 有機塩素化合物 ジクロロメタン 四塩化炭素 1,2-ジクロロエタン 1,1-ジクロロエチレン シス-1,2-ジクロロエチレン 1,1,1-トリクロロエタン 1,1,2-トリクロロエタン 1,3-ジクロロプロペン チウラム シマジン チオベンカルブ ベンゼン セレン			

表－1 (5) 事後調査の概要 (平成 24 年 1 月)

(4)騒音・低周波空気振動

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
騒音レベル 低周波空気振動音圧レベル	1点(大阪南港野鳥園)	—	2回/年 (4月、10月)

(5)悪臭

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
臭気強度 臭気指数 特定悪臭物質濃度	1点(大阪南港野鳥園)	—	2回/年 (8月、9月)

(6)陸域生態系(鳥類)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
鳥類の生息状況	4点 【a、b、c、d】	—	4回/年 (5月、6月、8月、2月) (2年おきに実施)

廃棄物搬入施設周辺における調査

廃棄物搬入施設

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
大気質 二酸化硫黄(SO ₂) 窒素酸化物(NO ₂ 、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	搬入ルート沿道 大阪基地 : 2点 【No.2、3】 堺基地 : 2点 【No.1、2】 泉大津基地 : 2点 【No.A、B】	—	1週間×4回/年 (5月、8月、11月、2月)
騒音 道路交通騒音レベル	搬入ルート沿道 大阪基地 : 2点 【No.2、3】 堺基地 : 2点 【No.1、2】 泉大津基地 : 2点 【No.A、B】	—	2回/年 (作業時間帯に実施) (5月、11月)
振動 道路交通振動レベル	搬入ルート沿道 大阪基地 : 2点 【No.2、3】 堺基地 : 2点 【No.1、2】 泉大津基地 : 2点 【No.A、B】	—	2回/年 (作業時間帯に実施) (5月、11月)
交通量 廃棄物輸送車 一般車	搬入ルート沿道 大阪基地 : 3点 【No.1、2、4】 堺基地 : 4点 【No.1、2、3、4】 泉大津基地 : 3点 【No.A、B、C】	—	4回/年 (作業時間帯に実施) (5月、8月、11月、2月)
悪臭 臭気強度 臭気指数	敷地境界 大阪基地 : 2点(風上、風下) 【No.5、6】 堺基地 : 2点(風上、風下) 【No.5、6】 泉大津基地 : 2点(風上、風下) 【No.D1、D2】	—	2回/年 (6月、8月)

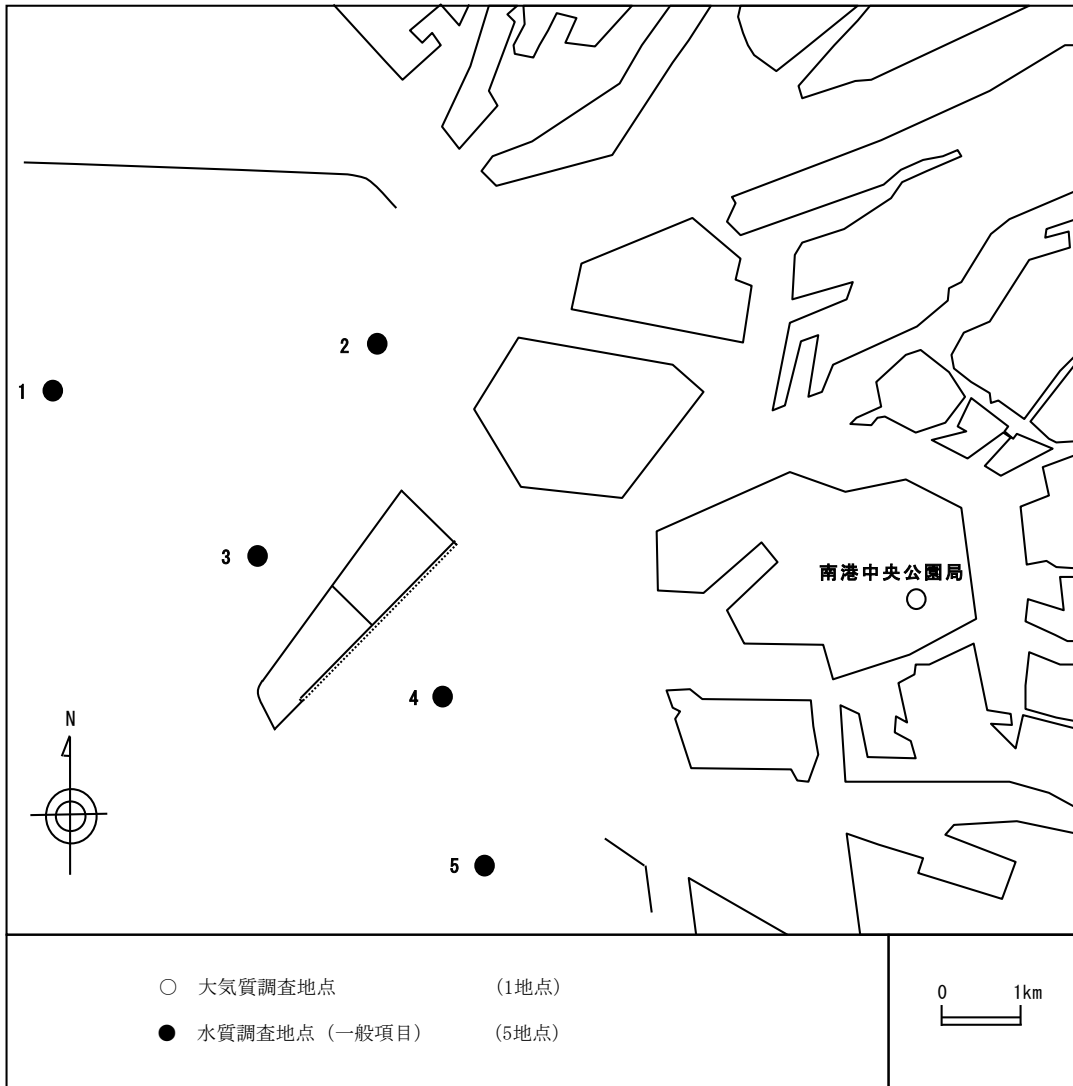


図-1(1) 大気質、水質(一般項目)の調査地点(平成24年1月)

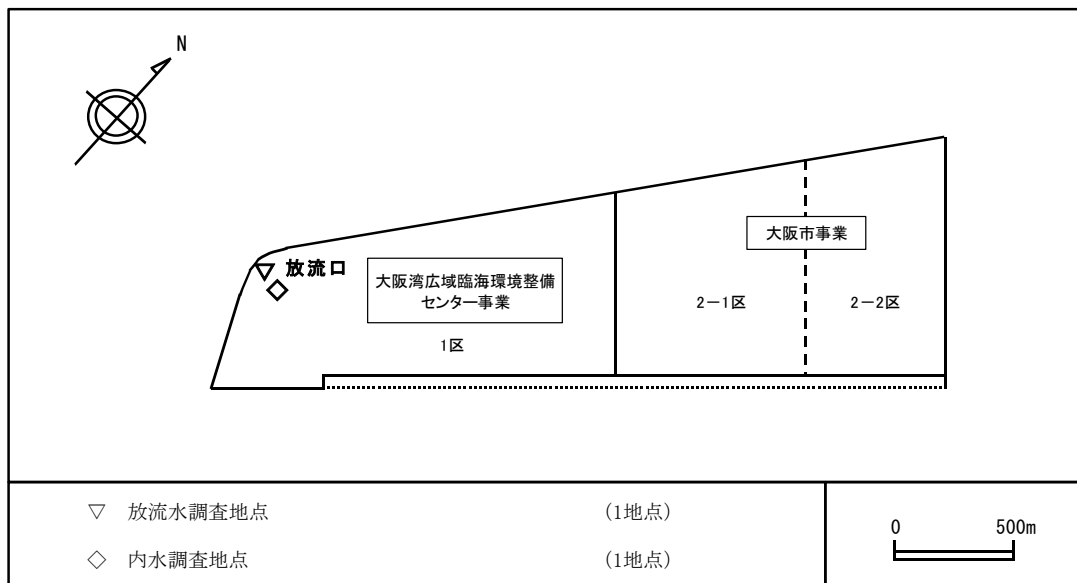
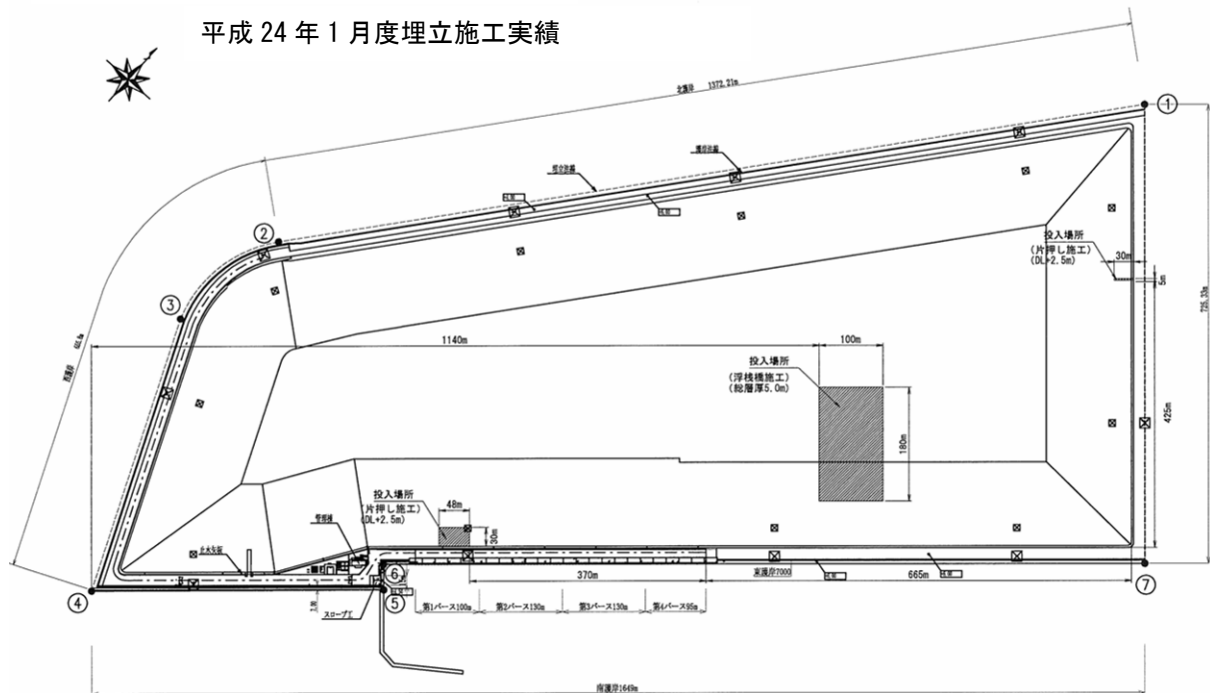


図-1(2) 水質(埋立中:放流水、内水)の調査地点(平成24年1月)

2. 工事の実施状況

平成 24 年 1 月の工事の実施状況は、図-2 に示すとおりである。

大阪沖埋立処分場平面図



埋立量 (m ³)	進捗率 (%)
1,482,530	10.6

埋立容量(計画量) : 13,975,000 m³

図-2 工事の実施状況 (平成 24 年 1 月)

3. 調査結果の概要

埋立地周辺における調査

(1) 大気質 [大気質様式第1号～8号]

- 1) 二酸化硫黄 (SO₂) 【環境基準値：日平均値：0.04ppm 以下、1時間値：0.1ppm 以下】
二酸化硫黄(SO₂)の月平均値は、0.005ppm であった。また、日平均値の最高値は0.009ppm、1時間値の最高値は0.019ppm であり、環境基準値を下回っていた。
- 2) 二酸化窒素 (NO₂) 【環境基準値：日平均値 0.04～0.06ppm のゾーン内またはそれ以下】
二酸化窒素(NO₂)の月平均値は、0.022ppm であった。また、日平均値の最高値は0.049ppm であり、環境基準値の範囲内であった。
- 3) 浮遊粒子状物質 (SPM) 【環境基準値：日平均値 0.10mg/m³以下、1時間値：0.20 mg/m³以下】
浮遊粒子状物質 (SPM) の月平均値は、0.020mg/m³ であった。また、日平均値の最高値は0.042mg/m³、1時間値の最高値は0.058mg/m³であり、環境基準値を下回っていた。

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

(2) 水質

①一般項目 [水質様式第1号]

- 1) 水素イオン濃度 (pH) 【環境基準値：7.8 以上 8.3 以下】
水素イオン濃度 (pH) は上層でいずれも 8.0、下層でいずれも 8.0 であり、上層、下層共に全ての調査地点で環境基準値の範囲内であった。
- 2) 化学的酸素要求量 (COD) 【環境基準値：3mg/L 以下】
化学的酸素要求量 (COD) は上層で 1.6～1.9mg/L、下層で 1.4～1.9mg/L の範囲にあり、上層、下層共に全ての調査地点で環境基準値を下回っていた。
- 3) 溶存酸素量 (DO) 【環境基準値：5mg/L 以上】
溶存酸素量 (DO) は上層で 9.3～10mg/L、下層で 8.3～8.7mg/L の範囲にあり、上層、下層共に全ての調査地点で環境基準値を満たしていた。
- 4) 全窒素 (T-N) 【環境基準値：0.6mg/L 以下】
全窒素 (T-N) は上層で 0.46～0.90mg/L、下層で 0.32～0.42mg/L の範囲にあり、上層では調査地点 1 及び 2 において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点で環境基準値を下回っていた。
環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 1 (0.79mg/L)、調査地点 2

(0.90mg/L)であったが、事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成12年度）は、0.46～2.1mg/Lであり、いずれもこの範囲内であるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

5) 全燐 (T-P) 【環境基準値：0.05mg/L以下】

全燐 (T-P) は上層で0.031～0.050mg/L、下層で0.029～0.044mg/Lの範囲にあり、上層、下層共に全ての調査地点で環境基準値以下であった。

6) 濁度

濁度は上層でいずれも1度(カリン)、下層で1～2度(カリン)の範囲であった。

7) 浮遊物質 (SS)

浮遊物質 (SS) は上層で2～3mg/L、下層で2～7mg/Lの範囲であった。

8) クロフィル a

クロフィル a は上層で1～6 μ g/L、下層で1～3 μ g/Lの範囲であった。

②-1 放流水、内水及び護岸外周 [水質様式第6～9号]

1) 放流水 (連続測定)

濁度は、0.3～0.6度(カリン) (平均値 0.4度(カリン)) の範囲であった。

水温は、6.9～8.2℃ (平均値 7.7℃) の範囲であった。

pH は、7.7～8.1 の範囲にあり、測定期間を通じて放流水の基準値及び管理目標値 (5.0 以上 9.0 以下) の範囲内であった。

COD は、3.8～8.4mg/L (平均値 4.6mg/L) の範囲にあり、測定期間を通じて放流水の基準値 (90mg/L) 及び管理目標値 (40mg/L) を下回っていた。

DO は、8.7～9.2mg/L (平均値 9.0mg/L) であった。

2) 放流水、内水

・放流水

SS は、1.6～3.7mg/L (平均値 2.6mg/L) の範囲にあり、全測定を通じて放流水の基準値 (60mg/L) 及び管理目標値 (50mg/L) を下回っていた。

FSS は、<1～1.9mg/L (平均値 1.5mg/L) の範囲であった。

pH は、7.7 であり、放流水の基準値及び管理目標値 (5.0 以上 9.0 以下) の範囲内であった。

COD は、9.9mg/L であり、放流水の基準値 (90mg/L) 及び管理目標値 (40mg/L) を下回っていた。

T-N は、5.3mg/L であり、放流水の基準値 (120mg/L、日間平均 60mg/L) 及び管理目標値 (30mg/L) を下回っていた。

・内水

SS は、3.0～4.6mg/L (平均値 4.0mg/L) の範囲であった。

FSS は、1.6～2.9mg/L (平均値 2.3mg/L) の範囲であった。

pH は 8.4、COD は 14mg/L、T-N は 5.8mg/L であった。

3) 護岸外周

1月は実施せず。

②-2 処分場周辺

1月は実施せず。

(3) 底質

1 月は実施せず。

(4) 騒音・低周波空気振動

1 月は実施せず。

(5) 悪臭

1 月は実施せず。

(6) 陸域生態系（鳥類）

1 月は実施せず。

廃棄物搬入施設周辺における調査

1 月は実施せず。

《 参 考 》 環境基準等（本報告関係分）

1. 環境基準

(1) 大気質

項 目	基 準 値
二酸化硫黄 (SO ₂)	1 時間値の 1 日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、 1 時間値が0.1ppm以下であること。
二酸化窒素 (NO ₂)	1 時間値の 1 日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでの ゾーン内又はそれ以下であること。
浮遊粒子状物質 (SPM)	1時間値の 1 日平均値が0.10mg/m ³ 以下であり、かつ、 1 時間値が0.20mg/m ³ 以下であること。

(2) 水質

①水質（海域）

類型	項 目	基 準 値
B	水素イオン濃度 (pH)	7.8 以上 8.3 以下
	化学的酸素要求量 (COD)	3mg/L 以下
	溶存酸素量 (DO)	5mg/L 以上
	n-ヘキサン抽出物質(油分等)	検出されないこと
III	全窒素 (T-N)	0.6mg/L 以下
	全磷 (T-P)	0.05mg/L 以下

- 注) 1. 水素イオン濃度、化学的酸素要求量、溶存酸素量及びn-ヘキサン抽出物質の基準値は日間平均値、全窒素及び全磷の基準値は年間平均値である。
2. 化学的酸素要求量の環境基準の評価方法については、次のとおり定められている。
公共用水域における環境基準(BOD又はCOD)の評価方法について（昭和52年環水管52号）
- (1) 環境基準の水域累計を指定する際の水質測定結果の評価方法について
環境基準の水域累計をあてはめるための水質測定結果については、年間を通じた日間平均値の全データのうち、あてはめようとする類計の基準値を満たしているデータ数の占める割合をもって評価するが、その割合が75%以上ある場合、その基準に適合しているものと評価する。
なお、環境基準値と比較して水質の程度を判断する場合は、以下の方法により求めた「75%水質値」を用いるものとする。
75%水質値・・・年間の日平均値の全データをその値の小さい者から順に並べ0.75×n番目（nは日間平均値のデータ数）のデータ値をもって75%水質値とする。（0.75×nが整数でない場合は端数を切り上げた整数番号の値をとる。）
- (2) 環境基準点における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について
環境基準点において、年間を通じて環境基準に適合していたか否かを判断する場合には、(1)と同様に年間を通じた日間平均値の全データのうち75%以上のデータが基準値を満足している基準点を適合しているものと判断する。
- (3) 複数の環境基準点をもつ水域における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について
これについては、当該環境基準類型あてはめ水域内のすべての環境基準地点において環境基準に適合している場合に、当該水域が環境基準を達成しているものと判断する。

2. 規制基準等

(1) 水質

①水質（放流水・一般項目）

処分場	項目	基準値	管理目標値
管理型最終処分場	水素イオン濃度（pH）	5.0 以上 9.0 以下	同左
	化学的酸素要求量（COD）	90mg/L 以下	40mg/L 以下
	浮遊物質量（SS）	60mg/L 以下	50mg/L 以下
	窒素含有量（T-N）	120mg/L（日間平均60mg/L）以下	30mg/L 以下
	磷含有量（T-P）	16mg/L（日間平均 8mg/L）以下	4mg/L 以下
	ノルマルヘキサン抽出物質含有量（n-ヘキサン抽出物質）	鉱油類含有量 : 5mg/L以下 動植物油脂類含有量 : 30mg/L以下	同左
	大腸菌群数	日間平均 3000個/cm ³ 以下	同左

- 注) 1. 放流水の基準値は、一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令別表第一より抜粋。
 2. 管理目標値は、事後調査計画書における調査結果の評価や対策を実施するために定めたもの。

II 事後調查結果

大気質測定結果総括表〔平成24年1月分〕

項 目		測 定 局
		南港中央公園
二酸化硫黄	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.04ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	740
	1時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）	0
二酸化窒素	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数（日）	2
	日平均値が0.06ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	741
	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数（時間）	0
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）	0
浮遊粒子状物質	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	741
	1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数（時間）	0
備 考		

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

二酸化硫黄測定結果[平成24年1月分]

測定局		南港中央公園	
項目		日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)
日	1 (日)	0.006	0.017
	2 (月)	0.005	0.009
	3 (火)	0.005	0.013
	4 (水)	0.007	0.014
	5 (木)	0.004	0.006
	6 (金)	0.006	0.009
	7 (土)	0.003	0.003
	8 (日)	0.004	0.008
	9 (月)	0.006	0.009
	10 (火)	0.009	0.019
別	11 (水)	0.007	0.012
	12 (木)	0.004	0.007
	13 (金)	0.006	0.011
	14 (土)	0.009	0.012
	15 (日)	0.005	0.010
	16 (月)	0.004	0.005
	17 (火)	0.004	0.005
	18 (水)	0.007	0.012
	19 (木)	0.004	0.007
	20 (金)	0.002	0.004
値	21 (土)	0.003	0.006
	22 (日)	0.005	0.010
	23 (月)	0.004	0.007
	24 (火)	0.004	0.005
	25 (水)	0.005	0.008
	26 (木)	0.005	0.008
	27 (金)	0.008	0.015
	28 (土)	0.008	0.013
	29 (日)	0.004	0.006
	30 (月)	0.005	0.009
	31 (火)	0.005	0.007
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		740	
月平均値 (ppm)		0.005	
日平均値の最高値 (ppm)		0.009	
1時間値の最高値 (ppm)		0.019	
1時間値が0.1ppmを超えた時間数 (時間)		0	
日平均値が0.04ppmを超えた日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

一酸化窒素測定結果[平成24年1月分]

測定局		南港中央公園	
項目		日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)
日	1 (日)	0.005	0.019
	2 (月)	0.001	0.003
	3 (火)	0.001	0.004
	4 (水)	0.001	0.002
	5 (木)	0.010	0.042
	6 (金)	0.022	0.094
	7 (土)	0.004	0.011
	8 (日)	0.003	0.028
	9 (月)	0.009	0.083
	10 (火)	0.047	0.238
別	11 (水)	0.005	0.022
	12 (木)	0.008	0.039
	13 (金)	0.007	0.017
	14 (土)	0.004	0.020
	15 (日)	0.005	0.053
	16 (月)	0.008	0.021
	17 (火)	0.015	0.070
	18 (水)	0.067	0.199
	19 (木)	0.030	0.100
	20 (金)	0.012	0.038
値	21 (土)	0.007	0.032
	22 (日)	0.009	0.036
	23 (月)	0.004	0.013
	24 (火)	0.004	0.014
	25 (水)	0.003	0.012
	26 (木)	0.009	0.061
	27 (金)	0.005	0.012
	28 (土)	0.005	0.032
	29 (日)	0.001	0.005
	30 (月)	0.017	0.107
	31 (火)	0.004	0.010
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		741	
月平均値 (ppm)		0.011	
日平均値の最高値 (ppm)		0.067	
1時間値の最高値 (ppm)		0.238	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

窒素酸化物(NO+NO₂)測定結果[平成24年1月分]

測定局		南港中央公園		
項目		日平均値		1時間値の 最高値 (ppm)
		(ppm)	NO ₂ / (NO+NO ₂) (%)	
日	1 (日)	0.026	80.8	0.046
	2 (月)	0.008	87.5	0.018
	3 (火)	0.010	90.0	0.027
	4 (水)	0.008	100.0	0.015
	5 (木)	0.033	66.7	0.086
	6 (金)	0.050	56.0	0.137
	7 (土)	0.017	76.5	0.032
	8 (日)	0.019	84.2	0.061
	9 (月)	0.034	73.5	0.123
	10 (火)	0.084	44.0	0.297
別	11 (水)	0.023	78.3	0.053
	12 (木)	0.031	74.2	0.083
	13 (金)	0.028	75.0	0.061
	14 (土)	0.024	83.3	0.053
	15 (日)	0.024	79.2	0.093
	16 (月)	0.033	75.8	0.059
	17 (火)	0.043	65.1	0.115
	18 (水)	0.116	42.2	0.255
	19 (木)	0.071	57.7	0.152
	20 (金)	0.041	70.7	0.081
値	21 (土)	0.036	80.6	0.069
	22 (日)	0.035	74.3	0.065
	23 (月)	0.020	80.0	0.039
	24 (火)	0.017	76.5	0.036
	25 (水)	0.017	82.4	0.032
	26 (木)	0.027	70.4	0.105
	27 (金)	0.023	78.3	0.039
	28 (土)	0.027	81.5	0.078
	29 (日)	0.013	92.3	0.024
	30 (月)	0.044	61.4	0.155
	31 (火)	0.026	80.8	0.050
有効測定日数 (日)		31		
測定時間 (時間)		741		
月平均値 (ppm)		0.033		
日平均値の最高値 (ppm)		0.116		
1時間値の最高値 (ppm)		0.297		
月平均値 NO ₂ /(NO+NO ₂) (%)		74.8		

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. NO₂/(NO+NO₂)の算定方法は、下記のとおりである。

$$\begin{aligned} & \text{日(月)平均値NO}_2 / (\text{NO} + \text{NO}_2) \\ &= (\text{NO及びNO}_2\text{が同時測定されている時間の} \\ & \quad \text{NO}_2\text{濃度の日(月)間にわたる総和}) / \\ & \quad (\text{NO及びNO}_2\text{が同時測定されている時間の} \\ & \quad \text{NO+NO}_2\text{濃度の日(月)間にわたる総和}) \end{aligned}$$

3. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

浮遊粒子状物質測定結果〔平成24年1月分〕

測定局		南港中央公園	
項目		日平均値 (mg/m ³)	1時間値の 最高値 (mg/m ³)
日	1 (日)	0.021	0.033
	2 (月)	0.014	0.032
	3 (火)	0.020	0.052
	4 (水)	0.025	0.052
	5 (木)	0.016	0.033
	6 (金)	0.022	0.038
	7 (土)	0.012	0.022
	8 (日)	0.014	0.032
	9 (月)	0.025	0.042
	10 (火)	0.042	0.058
別	11 (水)	0.029	0.055
	12 (木)	0.015	0.026
	13 (金)	0.023	0.044
	14 (土)	0.042	0.058
	15 (日)	0.018	0.035
	16 (月)	0.016	0.027
	17 (火)	0.018	0.034
	18 (水)	0.027	0.036
	19 (木)	0.021	0.032
	20 (金)	0.013	0.027
値	21 (土)	0.013	0.029
	22 (日)	0.017	0.039
	23 (月)	0.010	0.024
	24 (火)	0.011	0.023
	25 (水)	0.019	0.034
	26 (木)	0.013	0.026
	27 (金)	0.025	0.040
	28 (土)	0.029	0.046
	29 (日)	0.011	0.018
	30 (月)	0.011	0.022
	31 (火)	0.016	0.029
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		741	
月平均値 (mg/m ³)		0.020	
日平均値の最高値 (mg/m ³)		0.042	
1時間値の最高値 (mg/m ³)		0.058	
1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数 (時間)		0	
日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

気象観測結果（風向・風速）[平成24年1月分]

測定局		南港中央公園			
項目		風速			最多 風向 16方位
		平均 風速 (m/s)	最大風速		
			風速 (m/s)	風向 16方位	
日	1 (日)	1.0	2.3	WNW	WSW, N
	2 (月)	3.0	6.0	WNW	WNW
	3 (火)	2.2	5.3	WNW	WNW
	4 (水)	3.5	6.4	WNW	WNW
	5 (木)	2.1	3.7	WNW	WNW
	6 (金)	2.0	4.2	WNW	W, WNW
	7 (土)	2.7	4.1	NNW	N
	8 (日)	1.2	2.0	N	N
	9 (月)	1.2	3.1	WNW	WSW, N
	10 (火)	1.2	2.7	WNW	W, WNW
別	11 (水)	3.7	6.4	WSW	WNW
	12 (木)	1.6	3.6	N	N
	13 (金)	2.8	5.6	WNW	WNW
	14 (土)	1.9	4.1	WNW, N	WNW
	15 (日)	1.3	2.8	N	WSW
	16 (月)	1.6	2.4	NNE	NE
	17 (火)	1.7	3.0	N	N
	18 (水)	0.9	1.5	N	N
	19 (木)	2.0	3.5	NNE	NNE
	20 (金)	2.1	3.6	NE	NNE
値	21 (土)	1.6	2.9	N	N
	22 (日)	1.0	2.0	SW	SW
	23 (月)	3.2	5.9	WNW	WNW
	24 (火)	4.4	6.7	WNW	WNW
	25 (水)	3.4	5.7	WSW	WNW
	26 (木)	2.4	5.7	WNW	WNW
	27 (金)	2.8	4.4	WSW	WNW
	28 (土)	1.9	3.6	N	WNW
	29 (日)	1.4	2.9	N	N
	30 (月)	1.1	2.4	WNW	WNW, NW
	31 (火)	2.2	4.6	WNW	WNW
測定時間 (時間)		744			
月平均風速 (m/s)		2.1			
月最大風速 (m/s)		6.7			
月最多風向 (16方位)		WNW			

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

風向別出現頻度及び風向別平均風速[平成24年1月分]

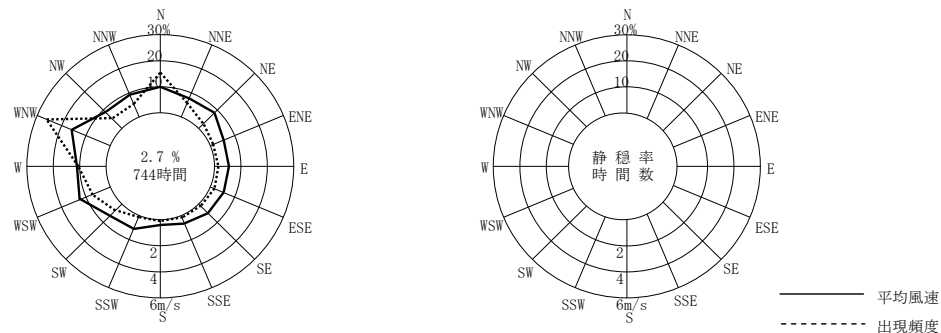
項目 \ 方位	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定時間数
度数	51	33	14	18	18	14	11	4	2	22	51	76	196	44	45	125	20	744
頻度 (%)	6.9	4.4	1.9	2.4	2.4	1.9	1.5	0.5	0.3	3.0	6.9	10.2	26.3	5.9	6.0	16.8	2.7	—
平均風速(m/s)	1.6	1.7	1.1	1.0	1.1	1.1	0.8	0.6	1.2	1.4	2.4	2.2	3.1	1.8	1.9	2.0	0.2	—

注:大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

測定局：南港中央公園局

風向風速計高さ：14.2m

凡例



注:大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

風配図 [平成24年1月分]

水質調査結果（一般項目）

[平成24年1月分]

調査日：平成24年1月11日

項目	調査点					最小値 ~ 最大値	平均値	
	1	2	3	4	5			
時刻	9:45	9:15	10:05	10:50	10:35	—	—	
透明度 [m]	4.2	4.0	5.2	3.4	3.5	3.4 ~ 5.2	4.1	
水温 [°C]	9.5	9.7	10.1	11.2	10.8	9.5 ~ 11.2	10.3	
	11.6	11.9	11.8	11.7	11.7	11.6 ~ 11.9	11.7	
塩分 [—]	29.1	28.2	30.7	31.2	31.0	28.2 ~ 31.2	30.0	
	32.0	33.0	33.0	33.0	32.7	32.0 ~ 33.0	32.7	
濁度 [度(カリン)]	1	1	1	1	1	1 ~ 1	1	
	2	2	1	2	1	1 ~ 2	2	
浮遊物質量 (SS) [mg/L]	2	2	2	3	3	2 ~ 3	2	
	4	5	4	7	2	2 ~ 7	4	
水素イオン濃度 (pH) [—]	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0 ~ 8.0	—	
	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0 ~ 8.0	—	
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	1.8	1.9	1.6	1.7	1.9	1.6 ~ 1.9	1.8	
	1.7	1.9	1.6	1.9	1.4	1.4 ~ 1.9	1.7	
溶存酸素量 (DO)	濃度 [mg/L]	9.4	9.3	9.4	10	9.7	9.3 ~ 10	9.6
		8.6	8.3	8.7	8.4	8.6	8.3 ~ 8.7	8.5
	飽和度 [%]	99	98	101	111	107	98 ~ 111	103
		97	95	99	95	97	95 ~ 99	97
全窒素 (T-N) [mg/L]	0.79	0.90	0.56	0.46	0.46	0.46 ~ 0.90	0.63	
	0.35	0.42	0.34	0.32	0.32	0.32 ~ 0.42	0.35	
全磷 (T-P) [mg/L]	0.048	0.050	0.040	0.031	0.032	0.031 ~ 0.050	0.040	
	0.038	0.044	0.032	0.034	0.029	0.029 ~ 0.044	0.035	
クロロフィル a (chl. a) [μg/L]	1	1	2	6	2	1 ~ 6	2	
	2	3	2	1	1	1 ~ 3	2	

注) 上段：上層（海面下1m）
下段：下層（海底面上2m）

特記事項

水質様式第6号

水質調査結果（埋立中の濁り等監視—廃棄物処分場放流水（連続測定：総括））

[平成 24年 1 月分]

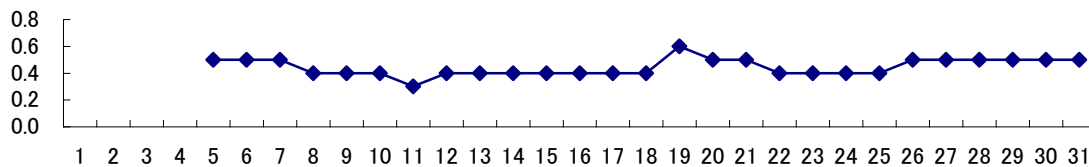
項目	区分	放流水		
		最小値	～ 最大値	平均値
濁度	[度(カリン)]	0.3	～ 0.6	0.4
水温	[°C]	6.9	～ 8.2	7.7
pH	[—]	7.7	～ 8.1	7.9
COD	[mg/L]	3.8	～ 8.4	4.6
DO	[mg/L]	8.7	～ 9.2	9.0
特記事項				

水質様式第7号

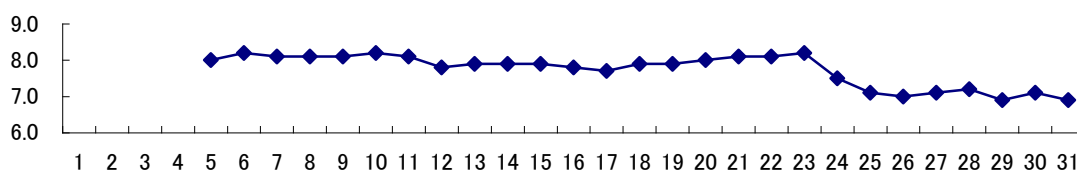
水質調査結果（埋立中の濁り等監視—廃棄物処分場放流水（連続測定））

[平成24年1月分]

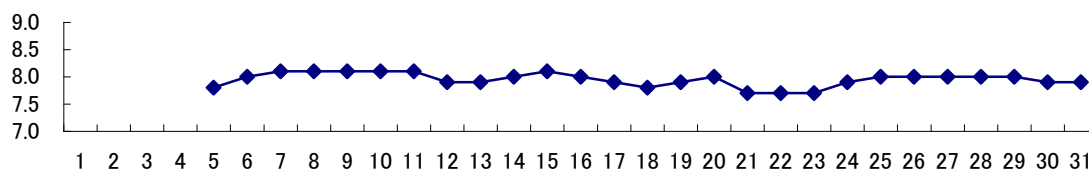
濁度[度(カリン)]



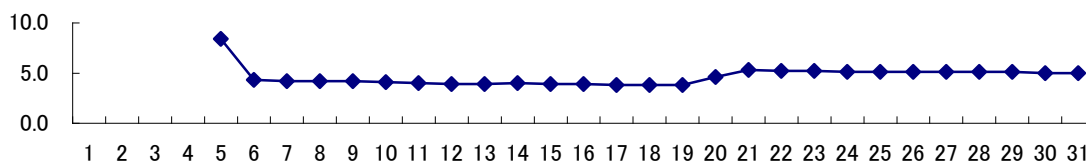
水温[°C]



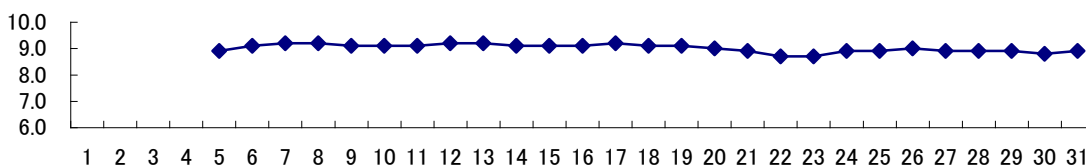
水素イオン濃度(pH) [—]



化学的酸素要求量(COD) [mg/L]



溶存酸素量(DO) [mg/L]



- ・ 12/29～1/4 年末年始休み
- ・ 1/5 発電機電源投入直後は測定ランプが不安定なためCODの値が上昇。

水質様式第8号

水質調査結果（埋立中の濁り等監視—廃棄物処分場放流水、内水①） [平成24年1月分]

区分 項目 調査日	放流水			内水		
	時刻	SS [mg/L]	FSS [mg/L]	時刻	SS [mg/L]	FSS [mg/L]
	1/5 (木)	11:00	3.7	1.9	9:40	4.1
1/11 (水)	10:20	1.6	< 1	10:40	3.0	1.6
1/17 (火)	10:30	3.3	1.8	10:10	4.6	2.6
1/25 (水)	10:05	1.8	1.1	10:25	4.4	2.9
平均値	—	2.6	1.5	—	4.0	2.3
最小値	—	1.6	< 1	—	3.0	1.6
最大値	—	3.7	1.9	—	4.6	2.9

特記事項

水質様式第9号

水質調査結果（埋立中の濁り等監視—廃棄物処分場放流水、内水②） [平成24年1月分]

調査日：平成24年1月11日

区分 項目	放流水	内水
時刻	10:20	10:40
pH[-]	7.7(17°C)	8.4(18°C)
COD[mg/L]	9.9	14
T-N[mg/L]	5.3	5.8

特記事項
